

デンマーク認知症ケア・シンポジウムのご案内

デンマークの認知症ケア 医療・ケアサポート最前線



2010
6/29 (火)

13:30~

ニッショーホール(日本消防会館)
東京都港区虎ノ門2丁目9番16

民主主義やノーマリゼーションの思想に基づく高齢者生活支援の三原則と、思いやり哲学、人間観などにつちかわれて提供される社会福祉国家デンマークの認知症ケア。

今回は、デンマークの認知症医療・ケアサポート体制の先端で活躍する、家庭医、認知症コーディネーター、理学療法士、地域高齢者精神医療班の認知症スーパーバイザー等の方々をお迎えし、デンマークと日本の認知症医療・ケア連携の現状と課題について討議していきたいと思えます。

認知症の人を地域の中で支え続けるデンマークには、認知症医療・ケアサポート体制の理念、仕組みと成果、それぞれの専門職の役割や機能において日本が学ぶべきことがたくさんあります。今、わが国のさまざまな地域で目指している、多職種協働と地域包括支援体制構築のヒントを一緒に探っていきましょう。

第1部 基調報告

基調講演 千葉忠夫(バンク・ミケルセン記念財団理事長)
「社会福祉国家デンマーク」

基調講演 Mirjam Gade(地域高齢者精神医療班・認知症スーパーバイザー)
「デンマークの認知症ケア」

第2部 シンポジウム

「認知症医療・ケア連携の現状とこれから(仮題)」

シンポジスト	Elo Aagaard	(ホームドクター)
	Birthe E. Steensen	(認知症コーディネーター)
	Bente Frandsen	(理学療法士)
	新田 國夫	(新田クリニック院長)
コーディネーター	永田久美子	(認知症介護研究・研修東京センター研究部副部長)

申し込み先着順(〆6/20)/参加費用 3千円

認知症ケア専門士単位取得 対象シンポジウム (「認知症ケア専門士単位:2単位」を取得できます。)

主催:NPO法人地域生活サポートセンター

後援(予定):厚生労働省、(社)認知症の人と家族の会、認知症介護研究・研修東京センター、(社)日本認知症グループホーム協会、全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会、NPO法人福祉フォーラム・ジャパン、日本認知症ケア学会、NPO法人地域認知症サポートブリッジ、(株)ニッセイ基礎研究所 ほか

講師・シンポジストのご紹介

千葉忠夫 : 日欧文化交流学院理事長



1967年渡欧
1991年バンクミケルセン記念財団理事長
1997年日欧文化交流学院理事長

Mirjam Gade : 州(県)地域高齢者精神医療班、認知症スーパーバイザー



1957年生
1987年看護師
1990年まで一般病棟勤務
1990年から精神病棟勤務
1994年認知症コーディネーター資格
2003年特別(上級)精神看護師

Elo Aagaard : ホームドクター



1948年生
1974年オーデンセ大学医学部卒
1989年まで病棟勤務医
1990年からBogenseで家庭医開業

Birthe E. Steensen : 認知症コーディネーター



1956年生まれ
1979年介護福祉士
1987年まで高齢者病棟勤務
2002年まで地方自治体高齢者センター勤務
2002年認知症コーディネーター資格取得
2003年地方自治体(Middelfart)認知症コーディネーター

Bente Frandsen : 理学療法士・75歳以上の高齢者訪問



1978年生まれ
2003年理学療法士
2004年地方自治体リハビリテーション勤務
2007年高齢者(健康予防)訪問者(75歳以上)

新田國夫 : 新田クリニック院長



1967年早稲田大学商学部卒業
1979年帝京大学医学部卒業
現在、北多摩医師会会長、東京都医師会地域福祉委員長、国立市在宅医療推進連絡協議会代表、国立市介護保険認定審査会々長、福祉フォーラム・ジャパン副会長、在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク副会長など、様々な組織で活躍中。

受講申込書

FAX 03-3986-8172
cs-sc@mx3.alpha-web.ne.jp

(事務局) 地域生活サポートセンター
〒171-0022 豊島区南池袋2-9-8-203
TEL 03-3986-8176 FAX 03-3986-8172

●受講をご希望の方は、FAX(下記申込書)または、メールにてお申込みください。
折り返し、いずれかの方法で「参加証」をお送りいたします。

(ふりがな) お名前	ご職業等		
ご所属先等			
電話番号		FAX番号	
メールアドレス			

※ お1人につき1枚でお申し込みください。